

2025年

# 風 光 れ

人権のたより

通算第86号 12月3日発行

三重県立津東高等学校

二学期の期末考査も終了。三年生は本格的に受験のシーズンに突入です。一年生、二年生も体調管理をしっかりとって有意義な冬休みを迎えましょう。

○「誰か」のこと じゃない ～第77回人権週間～（12月4日～12月10日）

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。そして、採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

令和7年（2025年）も、12月4日（木）から12月10日（水）の1週間を「第77回人権週間」と定め、全国各地で多数のイベントを実施しています。

この人権週間をきっかけに人権について考えてみませんか。（法務省 Web サイトより）



○ “Before I’ll ride with a drunk, I’ll drive myself.” —Stevie Wonder

世界的に有名なミュージシャン、スティーヴィー・ワンダー。ひょっとすると彼の名前を知らない人がいるかもしれませんが、数多くつくられた彼の曲はきっとどこかで耳にしたことがあると思います。その彼が、昔、アメリカの飲酒運転禁止の啓発ポスターに登場したときのキャッチコピーが上記のタイトルになります。しかし、ここまでの情報では彼を知らない人にとっては、なぜこのキャッチコピーをタイトルにしたかわからないと思います。（逆に彼をよく知っている人にとって、これ以降はあまり意味がない文章かもしれません。）

**彼、スティーヴィー・ワンダーは「盲目」の「黒人」ミュージシャンです。**

さて、この情報をふまえて、あらためてこのキャッチコピー、みなさんはどのように思われるでしょうか。日本では、「不謹慎だ！」と騒ぎ立てる人も出ることだろうと思います。そのような意見が出ることは否定しません。ただ、彼はこのように言っています。

「私は盲目であることを悲観しない。むしろ、それが人生の本質のようなものだ。考え次第で、人生を良くも悪くもする。」と。そして「盲目であることが不利だなんて思ったことはない。黒人であることを不利だなんて思ったことはない」とも言っています。だからこそ、ありのままの自分を肯定的にとらえ、それを生かした、そして少し皮肉をきかせたこのようなキャッチコピーをポスターに使ったのではないのでしょうか。